

【登山】

「自主活動」または「有料講師」



国立赤城青少年交流の家は持続可能な開発目標 (SDGs)を支援しています。
本プログラムでは重点項目を2つ設定しています。



内容

上毛三山の一つ赤城山（あかぎやま）を登ります。雄大な風景、山の動植物、仲間との協力、達成感など、登山のもつダイナミックさや爽快感を味わいましょう。

活動に必ず必要なもの

- ・利用団体（個人）で用意するもの：①水筒（1.5ℓ程度）②行動食 ③帽子 ④タオル ⑤防寒着 ⑥雨具（動きやすいもの）⑦運動靴（トレッキングシューズ推奨）⑧荷物を入れる背負えるバッグ ⑨肌が露出しない服装
※団体引率者は、「地図」「コンパス」「水2ℓ（非常用）」を携行する。
- ・交流の家で貸出可：①クマ鈴（1クラス1つ程度）②コンパス（団体に1つ）

活動前の準備

- ・「登山実施届」「登山者名簿」を記入し、事前に国立赤城青少年交流の家に FAX またはメールで送る。
- ・事務室で担当職員と事前打ち合わせを行う。
※国立赤城青少年交流の家に寄らずに、直接登山に行く場合は不要。
※登山道や貸し出し物品の確認を行う。

活動の流れ

- ①集合場所に班ごとにならび、物品を配布する。
- ②配布終了後、交流の家職員からの説明（セーフティトーク ※SDGs「赤城の多様な生態系」含む）を聞く。（15分程度）
- ③引率者が、活動時間や終了時間等の補足説明をする。
- ④国立赤城青少年交流の家を出発する。

留意点

【打合せ関係】

- ・打ち合わせは、到着後できるだけ早い時期にお願いします。
- ・雨天時の場合の活動内容をご準備ください。

【活動関係】

- ・参加者の体力に応じて適切なコースを選びましょう。
- ・登山は、「体力」以外にも「服装」「持ち物」が大切になります。事前の入念な準備をお願いいたします。
- ・疾病者が出ることを想定して、「ここで疾病者が出た場合、誰が引き連れて、搬送するのか」など緊急時の役割分担を明確にしておいてください。
- ・常に天候状況を確認してください。
- ・雷を察知したらより低く比較的乾燥している窪地に身を寄せます。逃げ場のない、ガレ場や岩場では、姿勢を低くして、雷雲が通り過ぎるのを待ちます。
- ・樹木や植物は採らないでください。
- ・山頂に立つことがゴールではありません。全員が無事に下山することがゴールです。
- ・携帯電話は電波が入らないところがあります。
- ・安全上、職員が中止の判断をすることがあります。